

「草と共に生きる」をコンセプトにオーレックがリブランディング 乗用草刈機コンセプトモデル、 ブランド発信拠点「OREC green lab 長野」を発表



国内シェアNo.1を誇る自走式草刈機、乗用草刈機などの農業機械製造販売を手掛ける株式会社オーレック(本社:福岡県八女郡、代表取締役社長:今村健二)は、創業68年目に際し、ブランドコンセプト「草と共に生きる」を掲げ、リブランディング事業を開始いたしました。

ブランディングにあたり、株式会社エイトブランディングデザインの西澤明洋氏を起用し、ロゴ、ツールデザイン、ユニフォーム、WEBサイトなどのデザインを刷新しました。

同時に、プロダクトデザインに関するNEW DESIGN PROJECTを開始、主力商品である乗用タイプの草刈機「ラビットモアー」のコンセプトモデルを開発しました。このコンセプトモデルは、創業70周年を迎える2018年度の商品化を目指し、今後、他機種へも展開していく予定です。

また、ショールーム機能を備えたブランド発信拠点を全国展開していく予定で、その第一弾として、果樹栽培が盛んな長野県内に「OREC green lab 長野」の建設を進めています(5月下旬オープン予定)。オーレック初となるショールームとして主要製品を一堂にラインナップするほか、継続的なアフターサービスを提供し、様々なイベントを通じて地域の皆様が気軽に立ち寄れる地域コミュニティの場となる空間を創造します。

オーレックは、「世の中に役立つものを誰よりも先に創る」という創業以来の企業精神を継承し、これまで業界初となる様々な製品を生み出してきました。その原点ともいえる自走式草刈機シリーズは、1974年の誕生以来、改良を続けながら今なおベストセラーを維持、有機農法の一つである草生栽培を可能としたこと、除草労働時間の短縮に貢献することから、国内外で高い評価を得ています。

今年度、当社は創業以来の売上100億円を突破しました。高品質な製品をスピーディに提供するため、部品調達から組み立てまでを自社工場にて一貫生産していますが、さらなる生産性向上を目指し、本社工場を15,800㎡から1.3倍に増築、4月より本格稼働を開始いたします。また、家庭菜園向けポータルサイト「菜園ナビ」などのIT事業の強化に加え、農業発展に関わる新規事業にも取り組んでいます。

安全・安心な食づくりと緑豊かな社会作りへの貢献を目指し、次なるステージへと進むオーレックにどうぞご期待ください。



【ブランドコンセプト】

草と共に生きる

有機農法の一つである草生栽培^{そうせい}。

それを可能にする自走式草刈機の開発が私たちの出発点でした。

ORECは、“世の中に役立つものを誰よりも先に創る”という精神で
オンリーワン・ナンバーワンのものづくりを続けています。

草と共に生きる

草を刈り、土を耕し、自然の力を引き出し、安全・安心な食づくりと緑豊かな社会作りへ。

私たちは人々の幸せを願い、農業・緑化・環境に貢献します。

【ブランドロゴ】



オーレックの原点である草をモチーフに、
ブランドコンセプト「草と共に生きる」を表現しています。
大地から力強く生えていく草には、
農業・緑化・環境づくりを通じ、
人々の安心・安全を願う思いが込められています。

新ロゴを中心に、ツールデザイン、ユニフォーム、ウェブサイトなど、すべてのデザイン要素を刷新しました。



ブランドパンフレット



商品カタログ



WEBサイト

【NEW DESIGN PROJECT: コンセプトモデル】

リブランディングにあたり、主力商品である乗用タイプの草刈機「ラビットモア」のコンセプトモデルを開発しました。

ブランドコンセプト「草と共に生きる」を体現し、オーレックのものづくりの真骨頂である細部へのこだわりを追求しながら、国内外問わず愛されるグローバルデザイン、女性や若い世代の方々でも楽しく使用したくなるようなデザインを目指しました。このコンセプトモデルは、創業70周年を迎える2018年度に商品化を目指しており、今後、各機種へと展開していく予定です。

【OREC green lab】

オーレックブランドを体感いただく場として、ショールーム機能を備えたブランド発信拠点「OREC green lab (オーレック・グリーンラボ)」を全国へ設置していきます。

その第一弾となるのは、全国でも有数の農業地域であり、果樹栽培が盛んな長野県に5月下旬オープン予定の「OREC green lab 長野」。国内外で多くの受賞歴のある建築家、木下昌大氏(KINO architects)を起用し、周辺の農園風景を生かし、自然の暖かみを感じられるデザインをコンセプトとした建物がリンゴ畑を抜ける国道18号線、通称アップルライン沿いに出現します。

「OREC green lab」では、オーレック初となるショールームとして、主要製品を一堂にご覧いただけるほか、充実したアフターサービスのご提供、地域コミュニティ作りへの貢献も目指しています。また、農家の皆様との接点を持つことでさらにニーズを汲み取った商品開発を実現していく予定です。

- ・住所：長野県長野市赤沼1896-50
- ・設計監理：KINO architects (施工：千広建設)
- ・構造規模：木造在来工法1階建て
- ・建築不動産コンサルティング：創造系不動産
- ・敷地面積：1,873.05㎡
- ・サイン計画：エイトブランディングデザイン
- ・延床面積：465.34㎡

【ブランディングデザイン】**株式会社エイトブランディングデザイン代表 西澤明洋氏 / NISHIZAWA AKIHIRO**

ブランディングデザイナー。1976年滋賀県生まれ。株式会社エイトブランディングデザイン代表。「ブランディングデザインで日本を元気にする」というコンセプトのもと、企業のブランド開発、商品開発、店舗開発など幅広いジャンルでのデザイン活動を行っている。「フォーカスRPCD®」という独自のデザイン開発手法により、リサーチからプランニング、コンセプト開発まで含めた、一貫性のあるブランディングデザインを数多く手がける。著書に『ブランドをデザインする!』（パイ インターナショナル）など。

【プロダクトデザイン】**Pete Spiral Company × pdc_designworks****株式会社Pete Spiral Company**

株式会社本田技術研究所 取締役主席研究員であった中野耕二氏が「いつでも最上級のデザインを提供できる企業でありたい」という理念を掲げ2015年2月に設立。主にモビリティデザインを得意とし、経験豊富なフリーデザイナーをコーディネートしている。

**pdc_designworks 代表 やまざきたかゆき氏 / TAKAYUKI YAMAZAKI**

プロダクトデザイナー。1972年長野県生まれ。株式会社本田技術研究所のデザイナーとして18年間所属。様々なヒット商品を手掛けた経験を活用し、「人々が笑顔になるデザイン」をテーマにプロダクトデザイナー&スマイルメーカーとして活動中。

【建築家】**KINO architects 木下昌大氏 / KINOSHITA MASAHIRO**

一級建築士。1978年滋賀県生まれ。2001年京都工芸繊維大学卒。同大学大学院修士課程修了後、2003年にC+A入社。小泉アトリエを経て2007年に独立し、現在に至る。iF design award (ドイツ/2016)、グッドデザイン賞ベスト100選出(2015)、日本建築学会作品選集新人賞(2014)、IOC/IAKS award 銅賞(ドイツ/2013)、INTERNATIONAL ARCHITECTURE AWARDS (アメリカ/2013)、アルカシア建築賞金賞(2011)など。

【株式会社オーレック 会社概要】

- ・創業：1948年(昭和23年)10月
- ・会社設立：1957年(昭和32年)7月
- ・本社所在地：福岡県八女郡広川町日吉548-22
- ・代表者名：代表取締役社長 今村健二
- ・従業員数：260名(2016年2月)
- ・主要事業：緑地管理機、農業機械製造販売、健康事業、IT事業、花粉事業など
- ・公式ホームページ：<http://www.orec-jp.com>

▼掲載・取材に関するお問い合わせ先▼

オーレックPR事務局(東京) / 担当：出口はる、廣瀬美葵
(TEL:090-2319-5605 FAX:050-3730-0597 E-mail:harudeguchi@gmail.com)

または
株式会社 オーレック ブランディング広報グループ
(TEL:0943-32-5072 FAX:0943-32-6551)